BEN STYLE

第７８号
ＢｅｎＨｏｕｓｅ
編集　尾上大輔
姫路市南条637
TEL:079-222-5500
www.benhouse.co.jp
バックNO.は上記WEBで

「裁判所からお手紙が、はてはて裁判員？」

かな、と思ったら、債権差押命令であった。はっ？　こんなん初めて。弊社社員が３年前に借りた１０万円。年５％の利息１万２千円、申立費用もろもろ足して１２万１千円。「払ってちょうだいなと。」書いてある、。ほんで何でＢｅｎＨｏｕｓｅが払わなあかんのん？第一本人が借りたのは前の会社の時でしょ。こんなに簡単に差押されたらかなわんわ。そのうち貸主の方が電話してこられましたが、「そりゃご迷惑をおかけしていますね、借りたお金は返済するのは当然です。本人に支払うよう、よく言うときますので。本人さんから払ってもらってくださいな。」なんて、言っちゃいました。ＢｅｎＨｏｕｓｅが売掛金を払ってもらえない事はどんどん発生しているのに、なんでこんなに簡単な手続きで差押されるの？　疑問疑問！不満不満！そういった気持がありました。６０万円以下の小額訴訟は非常に簡単に判決がおりるようです。

ふーんなんだけど、それでも納得いかず、疑問疑問！不満不満！そうする内に次は口頭弁論期日呼出状が来た。

「うわーっいに呼出されたく。」、こんな時に、小人がやる事、「すみませんこの日はロータリーの例会で都合が悪いんですが～」なんて言ったが、一瞬で弾き飛ばされた。「みなさん、忙しい、よっぽどの理由でなければ欠席裁判になりますよ。」って言われて、しぶしぶその日を予定する。このことを会計士さんに相談したら、「払うとき、100％勝てません。」行っても負け、行かなくても負けか～。結果は決まっている。が～、裁判所へ行ってみたいやん、法廷で「被告人答弁・・・」なんてやってみたい、法廷ってどうなってんの？裁判官って偉そうにしとんかな～。検事もおるかな～なんて興味が、ほんでもって行く事に決定。11月18日いざ鎌倉、5分前につき廊下で待つ、23号法廷である。ふむふむ2階の3号という意味ね。法廷にはドアに小窓が、のぞいて写真なんかを撮ってると。「もしもし、お入りください。」なんていわれて入室する。ここで「私はウソを申しません。」なんて、宣誓するんだよね。なんて、ＴＶで見た光景は？？？？ー５台も、ＴＶ会議システム？遠隔地裁判はＴＶ会議か？進んでるやん。裁判所もコスト意識に目覚めたか？さすがさすが仕分け作業。ほんでもって真ん中に楕円の会議セットが、ちよっとイメージ違うんだよね。ほんでも一応、柵で区切られた傍聴席が。さて裁判が始まりました。裁判官、書記、民間陪審員、原告、被告（大ちゃん）ら人で開始です。裁判官が状況説明して陪審議に入る。ここで民間陪審員さんが、いいタイミングで「ＢｅｎＨｏｕｓｅさん私は民間人で、裁判、調停がスムーズに進めるために参加しています、いわば仲裁人のようなものですよ、それと簡易裁判の場合はお互いが言い合うのではなく和解を求める為、この様な円卓で皆さんが顔を合わせながらやるんですよ。」ひゃーこれでは、一言申し上げたいと思ってた人もおとなしくなるな～。大ちゃんあやうく仲良くなろうと、名刺を出しそうになった。恐るべし陪審員、お上手！。もともと負けを覚悟していた大ちゃん、「なんでこんなに簡単に差押なん？」なんて聞くと、「勤め先へ給料の差押は非常に簡単なんだそうです、サラリーマンは借金を踏み倒せない↓サラ金屋さんが儲かった。」なるほどね～、つらいね～サラリーマン。でも最近は大手銀行がサラ金に進出。サラ金屋さんもつらそう。なんて事で円満に解決。と、言うより結果の決まった出来レース。裁判官の方は３０歳くらいでハンサムでやさしく、えらそぶったところもなく、フレンドリーに説明してくださりました。裁判官と裁判所見直しました。すばらしい。でもでも、１２万円を回収するのに原告の人は、手続きするのに５万円位、日当がかかった事でしょう、それに本日の裁判費用、原告もしくは被告が払った費用は４千円か？　安すぎる給金の無駄遣いと言おうか？国民の権利と言おうか、安すぎる。これで法廷デビューも終わりです。暴れて拘置所へ入れられなくて良かった。かわいい社員さんからは毎月千円づつ返済していただく事にいたしました。社長やってると色々あるな～、勉強できて幸せ幸せ。

「ＦＭゲンキに出演します、聞いてね？？」

コムサロンのパーティーで知り合ったファンキーキッズの岸田さんの紹介で、「尾上さん、ＦＭゲンキに出ませんか？」もちろん二つ返事でＯＫ。「私のふるさと自慢」という西田理恵さんの番組です。約３０分の収録だそうです。出演は２カ月後の日曜日朝９時30分からです、出来るかな～。前にゲンキには一回出ました、たしか「街の元気人」と、いった番組です。友達もみんな出てるし大ちゃんも大丈夫って行ったと思う。でもでもお話べたな大ちゃん、あまりうまくいかなかったような記憶が・・・。だから今回もやばし。ほんでもやらねばならん商売人。やっぱりコマーシャルやもん出してもらわねば。１週間ほど前に西田理恵さんが会社を訪ねてくださいました。前はぶっつけ本番やったけど、今回はリハーサル付か、ゲンキさんも賢明になったか。Ａ４一枚の打合せシートで打合せしていく。「昔の思い出や、ふるさとの事を伺います。そして現在の活動のお話などもお聞きします。」

現在の活動・・・、ヤリー、姫路の人に姫路の話をしてもなくなんて思ってたところに助け舟です。現在の事なら思いきり話せるぜ、そこで登場したのは、黄色いボールペンの哲学と、黄色い車の誕生物語でした。この話題なら何時間でもＯＫＯＫ。うんこれで行こう。楽勝楽勝と思ったかどうか？日が近づくにつれて、失敗しないかな～の不安が。それでも用意しないのが大ちゃん。ぶっつけでどれだけ出来るかが、わたいの尺度なんていいながら当日、朝８時に「ちよっと仕事行って来るわ」と、出かける。決してラジオ出演とは言わない。９時にＦＭゲンキに到着。応接室に待機、西田アナにコーヒーをいただく。本番中であるが、慣れたもの、曲が流れる３分間でさっさとご用意いただいた。やっぱりプロは時間進行に慣れてるんやね。この３０分が長いねぇ。いよいよ本番です。スタジオに入室、デイレクター一人に西田アナとわたくしの３人。西田アナのマイクに向かう声は、普段の声と全然違う一オクターブ高く透き通った声に変わる、美しいのである、声が。もちろんお顔もね。これこそプロフェッショナルだ！そ

市民会館のところにあった昔の公会堂です。

の声の変化に圧倒されながら、大ちゃんも自己紹介からはいる。その後は、小学校２年頃の古二階町の話、昭和真っ只中の昭和３７年位の子供が群れて遊んでいた時代のお話をする。公会堂（市民会館）総社の血の池、電話局（ＮＴＴ）練兵場（大手前公園）お城マート（イーグレがあるとこ）民衆駅（ＪＲ姫路駅）などのお話で大いに懐かしむ。３才頃のうっすらとした記憶であるが、練兵場には街頭テレビがあった。昭和３９年オリンピックまでが姫路レトロの時代であったと思う。その後はカツコ悪かった時代のＢｅｎＨｏｕｓｅの失敗談、例えば、幸町のお店では１日１円も売れなかった日。「幸町ぼうず事件」とか、南条店舗の開設苦労話「思えばかなう事件」とかをお話して、３０分の持ち時間が終わりました。最後にリクエスト曲はスピッツの「空も飛べるはず」リクエストする。「はい、ご苦労様でした。」この合図で終了です。大ちゃんとしては好きな曲を最後まで聴いていたかったのであるが、雰囲気は、「終了終了！次行くよ」って、感じ。まあしようがないか、やってる人と出演する人に違いかな。スタジオ写真を２枚とって退出しました。あ～スッキリスッキリ、出演料出演料、なんて言いながら豪華ＦＭゲンキのシールをいただく。ありがとうございました。今回は自己採点で８０点かな、聴衆は人のぬけてるとことか、失敗談が大好きなんだな。そこん所をはずさなかったので、少し頼りないＢｅｎＨｏｕｓｅを残しておけば、好感を持ってもらって、どうせ買うならＢｅｎＨｏｕｓｅを助けてやろうなんてお客様も増えるかな？翌日ファンレター？？？がメールで届く。嬉しいね～。「何気なくラジオをつけたら、尾上さんの声が、一発で解かりましたよ。いつものんびりした話しっぷりでお上手でしたよ。」なんてね、嬉しいですね。人間ほめられると木にも登るって言うでしょ。それそれ、実は大ちゃんも誰かから、聞いてましたよって言われるのをほのかに期待してたりするんですよね。そのくせアナウンスしない、皆さん自信過剰でなく謙虚なんですよ。だから皆さんも、お友達が出演されたのを聞かれたら「聞いてましたよ、素敵でしたね。」なんて言ってあげたら。その人は一生あなたに好感を持ってくださいますよ。すごい作戦だと思いませんか。

練兵場にあった街頭テレビ。

ＢｅｎＨｏｕｓｅ
０円売上の幸町店